



T.Tassilo

明けの傷船 F100

田村 俊夫 遺作展

2015年 8月7日(金) - 9月8日(火)



真下慶治記念美術館
massimo keiji memorial museum of art

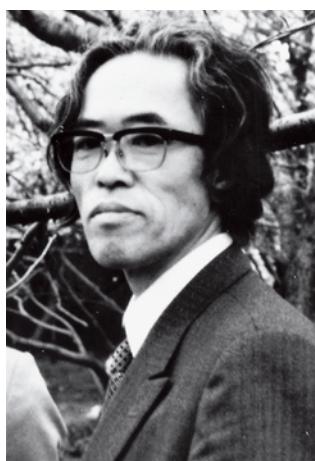
〒995-0054 山形県村山市大字大淀1084-1

TEL 0237-52-3195 FAX 0237-55-2152 E-mail massimo@city.murayama.lg.jp ホームページ [真下慶治記念美術館](#) 検索

開館時間／午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日／水曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始休み 入館料／大人 300円 小・中学生 150円(15人以上の団体は大人 250円 小・中学生 100円)

田村俊夫 遺作展

2015年8月7日(金) - 9月8日(火)



田村俊夫 略歴

1949年 東京高等師範学校
(現筑波大)卒業
1955年 一水会展出品
1978年 尺水会展出展
1979年 一水会展佳作賞受賞
1981年 日展出品
1983年 逝去

県立楯岡高等学校教師
県立山形西高等学校教師
県展無鑑査
創元会・大潮会展に出品
一水会出品
尺水会・VAN会・村山美術会員

田村俊夫遺作展によせて

父田村俊夫が他界してから、三十三年の月日が流れました。私の記憶の中にある父が、教員としてその大部分を過ごした楯岡高等学校も、新しい学校へと生まれ変わろうとしています。そんな今年、真下慶治記念美術館館長の真下清美様、楯岡高等学校のOBの方々のご尽力により、田村俊夫遺作展を開催させて頂くことになりましたことに、心から感謝申し上げます。

父が突然世を去ったとき、まだ学生で家を離れていた私は、父の遺品について十分な手を掛けることが出来ませんでした。完成・未完成に関わらず、父のアトリエにあった絵は、みな物置で埃をかぶることになりました。しかし、父が最後に家のあちこちに飾っていた作品は三十有余年そのままで、家の中であたかもそこだけ時が止まっているかのようです。

芸術に疎い私には絵のことは全くわかりませんが、父は生涯において、何度か作風や題材が変化したように思います。その父が最後に自ら飾っていた絵は、きっと本人が特に気に入っていた作品ではないかと思います。そこで今回は、そんな絵を中心展示させて頂きました。どうぞ、ごゆっくりご覧ください。

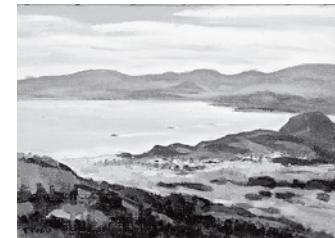
田村 嵩



煉瓦の倉庫 F100



柿 F6



風景 F4



シクラメンと貝 F30



シクラメン F12



廃船のある風景 F100



アクセス

- JR村山駅からタクシーで10分
- 東根ICから車で20分

常設展示室 最上川Ⅱ

6月26日(金)-9月8日(火)